

賢明学院高等学校スクールポリシー

賢明学院の教育はキリスト教的人間観・世界観と一人ひとりの人格を何よりも尊重する創立者 聖マリー・リヴィエの教育精神を継承し、世界の平和と発展に自ら貢献できる人間を育成する。

1 グラデュエーション・ポリシー

～賢明学院高等学校の育成を目指す資質・能力に関する方針～

理想的な社会の実現のために、社会のあらゆる分野でその核となって、積極的に他者のために奉仕し、世界の平和と発展に貢献できる人間を育成する。

そのために、社会性を育成するための教育機会を確保し、基礎的・基本的な学習活動や仲間同士の協調性や将来を見据えた体験活動を通して、生徒の可能性を引き出し、たくましさ
と心の豊かさを身につけ個性を伸ばす。

2 カリキュラム・ポリシー

～賢明学院高等学校の教育課程の編成及び実施に関する方針～

通信制、単位制、普通科のカリキュラムを設置する。教育課程および各教科、科目の年間教育実施計画を体系的に設定する。

一人ひとりの習熟度に合わせた学習サポートや集団での学習活動により、自ら課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

学校設定科目の宗教では、キリスト教が示す理想的人間像を生徒一人ひとりの中に実現するため、新しい時代を担う人材を育てることを指導目標とする。

3 アドミッションポリシー

～賢明学院高等学校の入学者受け入れに関する方針～

卒業認定の方針および教育課程編成・教育実施計画の方針を踏まえ、入学者に求める能力を総合的に評価する。入学試験までに事前に面談の場を設け、学習課程を説明し、生徒一人ひとりの意志を確認する。入学者の受け入れについて、具体的には、次のような人物を求めている。

毎日の生活の中で、祈りを通して、謙虚に自己を見つめ、現実に向かい合う。

キリスト教的人間観・世界観に基づく教育を通して、喜びをもって自ら学ぶ。

世界の一員としての連帯感と使命感をもって人に奉仕し、社会ために貢献する。